

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■三菱電機、FA採用事例に平田機工の開閉器・遮断器編を公開

三菱電機は、FA機器の採用事例紹介について、生産設備メーカーの平田機工関西事業部が顧客へ納入する生産設備に、同社製のスプリングクランプ端子仕様の開閉器・遮断器を採用している事例を公開した。

スプリングクランプ端子仕様の開閉器・遮断器は、端子がむき出しになることがなく安全性を確保できることに加えて、現地据え付け時の増し締めが不要になり、スムーズな立ち上げと安定稼働を実現できる点を評価したとしている。

■三菱電機、FA採用事例に加藤製作所のワイヤ放電加工機編を公開

三菱電機は、FA機器の採用事例紹介について、金属プレス加工品メーカーの加藤製作所のワイヤ放電加工機「MP2400」の超高精度仕様機の採用事例を公開した。

加藤製作所は、同機を自動車部品向け高精度プレス金型の形状製造に採用。産官学連携での研究開発事業に参画する目的で導入したもののほか、現在は極めて高い精度が要求される自動車部品向けの金型製造に大きな威力を発揮しているという。

■三菱電機、FA採用事例に豊鋼材工業のファイバレーザ加工機＋仕分けシステム編公開

三菱電機は、FA機器の採用事例紹介について、鉄鋼・金属加工の豊鋼材工業におけるファイバレーザ加工機＋仕分けシステムの採用事例を公開した。

豊鋼材工業は、ファイバ二次元レーザ加工機の導入により鉄鋼の加工作業の効率化を進めている。さらに、自動仕分けシステムやリモートサービスも組み合わせることによって生産性を3倍に高め、現場の作業者の安全性向上も実現している。

■三菱電機、コラム「グローバルPMモータ篇9年にもわたる開発プロジェクトがもたらしたもの」公開

三菱電機は、FAサイトの情報サイト「The Art of Manufacturing—ものづくり」で、コラム「グローバルPMモータ篇9年にもわたる開発プロジェクトがもたらしたもの」を公開した。

2021年春に200Vクラス全ラインアップを発売したグローバルPMモータ「EM-Aシリーズ」について、同製品はACサーボと誘導モータの間を埋める製品として企画され、その最大の目標はサーボに近い高精度な速度制御と正確な位置制御をセンサなしで行う「センサレスサーボ」の実現だった。サーボの前提をひっくり返すコンセプトの実現には9年以上もの苦闘があり、コラムではその時の様子を振り返っている。

■オムロン、導入事例にOKIサーキットテクノロジーのモバイルロボット活用例を公開

オムロンは、導入事例として山形県鶴岡市のOKIサーキットテクノロジーにおけるモバイルロボットの活用事例を公開した。

OKIサーキットテクノロジーでは、これまで建屋の増築・増床・24時間稼働で増産対応をしてきていたが、今後の人員不足の対応策として構内搬送の自動化・省力化にオムロンのモバイルロボットLDシリーズを採用し、生産性10%向上させた。

建屋やエレベータ管制システムを拡張し、既存乗用エレベータを活用したロボットによる階層越え搬送を実現したほか、ロボット走行用の動線改善、ロボットのエレベータ使用中を人に見える化する安全面の配慮などエンジニアの工夫が光る事例となっている。

■EPLAN、4月1日から社名を「EPLAN株式会社」に変更

EPLANは、2023年4月1日から社名を「EPLAN Software&Services株式会社」から「EPLAN株式会社」に変更した。

■東芝インフラシステムズ、スマートマニュファクチャリング事業ページを新設

東芝インフラシステムズは、2023年4月1日付で設立したスマートマニュファクチャリング事業部について、事業を紹介するページを公開した。

■IBSジャパン、技術情報カタログ「将来を見据えた産業ネットワークを再定義する」を公開

アイ・ビー・エスジャパンは、技術情報カタログ「将来を見据えた産業ネットワークを再定義する」を公開した。カタログでは、Moxaの次世代ネットワークソリューション、ITとOTのシームレスな統合や強化されたネットワークセキュリティなどを紹介している。

■ミネベアミツミグループのエイブリック、半導体設計のSSCを子会社化

ミネベアミツミの子会社のエイブリックは、半導体設計のSSCを子会社化した。エイブリックは、民生機器や産業機器をはじめ、携帯機器、車載用機器、医療機器向けのアナログ半導体を事業とし、SSCは半導体設計を得意とし、デジタル/アナログ、フロントエンド/バックエンドなどのさま

ざまな開発プロジェクトで成果を上げる技術者集団となっており、両社の相合によって商品やマーケット開発強化を目指す。

■日本航空電子、自動車用コネクタカタログのPDF・電子ブックを公開

日本航空電子（JAE）は、自動車用コネクタカタログ「Automotive Connectors Selection Guides）」を公開した。同社コネクタのラインナップなから自動車用コネクタを抜粋したカタログとなり、PDFと電子ブックで閲覧することができる。

■フエニックス・コンタクト、5月25日～バリシッブ2023に出展

フエニックス・コンタクトは、5月25日から愛媛県今治市のテクスポート今治ほかで行われる海事産業の専門展示会「バリシッブ2023/BARI-SHIP-IMABARI MARITIME FAIR」に出展する（ブース番号A-17）。

ブースでは、産業用Push-in端子台と、Push-inテクノロジーに進化させた新接続技術「Push-Xテクノロジー」搭載の産業用端子台やDC24Vの24時間連続

稼働を支援する電源ソリューション、船舶用の各種ソリューションなどを紹介する。また、工具デモコーナーで簡単接続ソリューションを体験できる。

■ジック、4月12日からインテックス大阪で開催の関西物流展に出展

ジックは、4月12日から14日にインテックス大阪で行われる「関西物流展」に出展する。

ブースでは、対象物の寸法、重量、ならびに対象物の1Dと2Dバーコードをたった一つの作業ステップで検出し、対象物の画像も作成できるトラックアンドトレースシステムのMDA Visionのほか、LiDARセンサデータを使用し必要に応じて他のセンサからの情報とリンクさせる位置測定ソリューションLiDAR-LOC、センサデータをセンサの使用場所で直に可視化することができるSICK Augmented Reality Assistantなどを紹介する。

価格・納期情報

■日立産機システム、配電用変圧器と真空遮断器の価格改定 2023年6月1日受注分から

日立産機システムは、配電用変圧器と真空遮断器について、2023年6月1日受注分から価格を改定する。対象商品は、変圧器のSuperトップランナーII（油入/モールド）、スコット（高圧/低圧）変圧器（油入/モールド）、Superアモルファスシリーズ（油入/モールド）、タイトランス（油入/モールド）、低圧/低圧変圧器（油入/モールド）は、本体価格はプラス30%、オプション価格も30%の値上げとなる。真空遮断器のハイブリッド形VCB、C形（固定形）VCBは、本体価格がプラス20%、オプション価格もプラス20%の値上げとなる。

セミナー・イベント情報

■ビューローベリタス、4月21日オンラインセミナー「IEC62443で始める産業サイバーセキュリティ」

ビューローベリタスは、4月21日14時からオンラインセミナー「IEC62443で始める産業サイバーセキュリティ」を開催する。参加は無料。電力、ガス、水道などの社会インフラや石油化学のプラント、機械や自動車などの工場の生産ラインで利用されている制御システム（OT）が間接的にインターネットに接続することでOTがサイバー攻撃の標的となり、被害も発生している。その対策に向け、OT向けサイバーセキュリティの規格としてISAとIECが開発したのがIEC62443となる。

セミナーでは、IEC62443を策定したISA（国際自動制御学会）のマネージングディレクターのAndre Ristaino氏をゲストスピーカーに迎えグローバル市場

におけるIEC62443 ISA Secure認証の最新動向と今後の展望をテーマに講演するほか、IEC62443の取り組みと最新動向を紹介する。

■リタール、4月19日オンラインセミナー「制御盤製造の最適化設計データを活用した手作業工程の自動化とは？」

リタールは、4月19日13時半からオンラインセミナー「制御盤製造の最適化ソリューション、設計データを活用した手作業工程の自動化とは？」を開催する。盤の設計から製造までのフローに沿って、制御盤製造の最適化を図る製造ソリューションを紹介する。参加無料・定員100名。

■星和電機、5月26日リアルセミナー「知っておきたい防爆・照明業界動向セミナー」開催

星和電機は、5月26日に京都府福知山市の福知山市企業交流プラザで、リアルセミナー「Lighting Technology Seminar2023（知っておきたい防爆・照明業界動向セミナー）」を開催する。参加無料。

防爆技術・最新動向や電気工事の留意点、スマート保安における照明器具のメンテナンス低減の取り組みをテーマにした講演のほか、LED照明器具の新製品などの展示も実施する。

Just in your products
Just Products

挑戦する盤メーカーをサポートする会社

コスト、生産性、脱炭素。
それだけにどとまらない、
銅バー加工の外注化の
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

産業用AIの『今』をお届け！

Tokyo AIフォーラム
製造業DX
スマートシティ

2023 4/20 THU
KANDA SQUARE
13:00～16:20

ADVANTECH
Enabling an Intelligent Planet

NVIDIA

Co.Tomorrowing
MACNICA

キーノートスピーチ：アドバンテック・NVIDIA・マクニカ

全11社登壇
無料イベント製造業DXセッション：コンピュータマインド・タカノ・ツツバー・アイシン
スマートシティセッション：ニューラルポケット・AWL・アジラ・Allxon最新のAIソリューション・
新製品・AI導入事例等について講演形式で紹介いたします。

詳細・申し込みはこちら⇒

主催：アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp>

tu na ga ru
ユ-エイ ツナガルシステム

Powered by
EnOcean
Self-powered IoT

IoT × キャスターが世界を変える

ツナガルシステム 🔍 特設サイトをチェック！

カスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 **ユ-エイ**

IoTシステムを体験できるショールーム
YUEI Technology Center (YTC東京)
詳細はこちら！

名古屋ものづくりワールド 主要企業ブース・展示紹介

機械要素技術展、AI・IoT展、工場設備・備品展など7展で構成

430社が出展

会期:4月12-14日 会場:ポートメッセなごや

名古屋ものづくりワールド(主催:RX Japan)が、4月13日から15日まで愛知県名古屋市のポートメッセなごやで開催される。430社が出展するものづくり専門展で、製造業

機械要素展

■サトーパーツ(ブース:9-11)

サトーパーツは、スクリューレス端子台、ネジ式端子台、ヒューズホルダー、表示灯など、産業構造をなす基本アイテムとなる各種電気部品を多品種にわたり製造・販売している。

ブースでは、顧客のお困りことから生まれた改善商品となる、定期メンテナンスが必要なセンサー接続部に専用工具不要で作業者を選ばない中継スクリューレス端子台や、試験や測定にねじ頭をがちりつかむバワークリップ(従来のミノムシクリップに比べて引っ張り耐力2倍!)を紹介する。

■ソルトン(ブース:13-5)

ソルトンは、産業用コネクタやカップリング、スイッチ、ケーブル、ケーブルグラウンド、ケーブルエントリシステム等の輸入販売を行っている。主な取り扱いブランドは、STAUBLI、Glenair、Hummel、OMNETICS、LABFACILITY、Mercotac、FOCAL、SCHLEGEL、icotekなど。

ブースでは、工場生産ラインの生産性・安全性向上に向け、産業用コネクタ・カップリングの豊富な実績・事例をもとにした提案を行う。

冷却水・作動油・エア・電気(電源・信号)等、全ての配管/配線着脱のマルチ化・自動化を実現する「マルチカップリング」や豊富な種類のモジュールを自由に組み合わせ可能なコネクタ「モジュラー式コネクタ CombiTacシリーズ」などを紹介する。

■オリエンタルモーター(ブース:10-35)

オリエンタルモーターはモーターメーカーとして、AC小型標準モーター、スピードコントロールモーター、ブラシレスモーター、αSTEP、ステッピングモーター、ACサーボモーター、電動アクチュエータ、コントローラ、ファンモーターなどをラインアップしている。

ブースでは、安価でロボットを内製できるサービスを提案する。ロボット導入コストは一般的に数百万円と高額になるケースが多いが、オリエンタルモーターの製品(モーター、アクチュエータ、ドライバ、ケーブル、コントローラ、ソフトウェア)で垂直多関節5軸ロボットを製作した場合、100万円以下で済み、そのほかの部品代を加えても安価にロボットが製作できる。

■シナノケンシ(ブース:13-15)

シナノケンシはコーポレートブランド「ASPINA」のもと、小・軽・静の3つの要素を実現する技術をコアに、精密モーターやドライバ、アクチュエータなどのモーターソリューション、動作検証・解析ツールをはじめとする産業ソリューションの他、家電、住設、自動車、医療・福祉分野など、多岐にわたる分野でモーターやモジュールを開発・生産している。

ブースでは、「自動化」「省人化」のキーワードを軸

に、製造現場向けの電動3爪ロボットハンドや自動搬送ロボットAMR、コントローラ内蔵デルタロボットなど、各種製品の展示・デモンストレーションを行う。

■THK(ブース:11-5)

機械要素部品メーカーのTHKは、独創的な発想と独自の技術により、世界に先駆けて「LMガイド」を開発し、メカトロニクス産業に不可欠な機械要素部品としてさまざまな産業に使われている。このほか「ボールスプライン」、「ボールねじ」、「リンクボール」をはじめとする機械要素部品を開発、生産し世界へ供給している。

ブースでは、LMガイドなど機械要素部品やIoTサービス「OMINIエッジ」をはじめ、アクチュエータ、ロボットテクノロジーシステム、免震・制震システム、ピック&プレースロボットなどを紹介する。

ものづくりAI/IoT展

■ロックウェルオートメーション(ブース:25-74)

ロックウェルオートメーションは、米国ウィスコンシン州ミルウォーキーに本社を置き、産業用オートメーションとデジタルトランスフォーメーションのグローバルリーダー。グローバルで約2万6000人の従業員がおり、世界100カ国以上に展開している。

ブースでは、短期で確実に生産のデジタル化で結果を出すクラウド製造実行システム(MES)「PLEX」、AR(拡張現実)作業手順ソリューション、仮想コミッションングでプロジェクトをスケジュールどおりに進めるエミュレーションソフトウェア「Emulate3D」を紹介する。

■ナ・デックス(ブース:25-79)

スポット溶接メーカのナ・デックスは、製造現場向けにITソリューションも提供し、品質管理をテーマとしたインラインにおける品質管理ソリューション、入荷から保管・仕分け・出荷に至るまで構内物流の自動化・省人化に向けた最適な機器の選定・システム導入まで物流ソリューションとして提案している。

ブースでは、「全数品質保証への挑戦!」として各製造工程における品質管理ソリューションを出展。プレス工程の生産情報をモニタリングして品質管理を行う「プレスのインライン品質管理」と、スパッタ分析・傾向分析など日々のスポット溶接情報からユーザ目線で分析ができる「スポット溶接セルフ分析ツール」を出展する。物流をテーマにパレタイズ・デパレタイズの自動化なども紹介する。

■日東工業(ブース:26-80)

日東工業は、高圧受電設備、分電盤、ホーム分電盤、光接続箱、金属製キャビネット、樹脂製ボックス、システムラック、ブレーカ、開閉器、電気自動車(EV・PHEV)用充電器シリーズ、熱関連機器などの電気機械器具製造・販売と発電・売電事業を行っている。

ブースでは、キャビネットのカスタマイズを手軽に実



現できる「スマートオーダーキャビネット・RAシリーズ」を出展する。キャビネット手配業務がWeb上で、作図・見積から製造、配送まで一貫して提供している。キャビネットメーカーならではのライン生産で、安定した品質と短納期を実現している。

■村田製作所(ブース:26-78)

村田製作所は、セラミックスをベースとした電子部品の開発・生産・販売を行っている世界的な総合電子部品メーカー。独自に開発、蓄積している材料開発、プロセス開発、商品設計、生産技術、それらをサポートするソフトウェアや分析・評価などの技術基盤で独創的な製品を創出している。

ブースでは、同社とACCESSが共同開発した製造現場の見える化・改善に役立つソリューション「JIGlet(ジグレット)」を紹介する。各面の意味付けを自由に設定してその時間や回数を記録する「サイコロデバイス」、数をカウントしたり離れた人を呼び出したりする「ボタンデバイス」、作業ランプの点灯・消灯を検知する「照度デバイス」の3つのデバイスにシナリオ設定を行い、個別または組み合わせて使うことでデータ収集とグラフによる可視化が簡単に行え、操作に特別な知識を必要としません。デバイスをSIMを内蔵し、ネットワーク工事も不要で導入できる。

■GUGEN(ブース:26-69)

GUGENは、「すべての人がすぐに使えるIoTを」をテーマに、製造業を中心とした産業用のIoTに特化したメーカ。FAエンジニアであれば特別な知識不要ですぐに使えるIoT機器をハード、ソフト、クラウドすべてを開発・提供している。

ブースでは、IoT/DXに必要なセキュア接続と遠隔監視機能を搭載し、遠隔監視に必要なハードウェアと携帯回線とクラウドシステムがすべてセットになり、購入後、簡単な設定をするだけですぐに遠隔監視をはじめられる「FALCONNECT」などを紹介する。

計測・検査・センサ展

■マコメ研究所(ブース:24-2)

マコメ研究所は、磁気検出を主たる技術として独自の磁気検出素子の研究開発と、磁気を応用した各種製品開発を行っている磁気応用機器の専門メーカー。

ブースでは、自社開発による高感度で高信頼性を誇る磁気検出素子「可飽和コイル技術」が応用されている磁気センサーを紹介する。同技術は原理がシンプルなこともあり、過酷な使用状況や悪条件下においても、



正確な動作と長期にわたる安定した性能を発揮できる。

■メトロール(ブース:21-11)

メトロールは、世界74カ国、7000社以上で生産設備の自動化・無人化によるものづくりイノベーションを支えている、工業用の精密位置決めセンサの専用メーカー。繰り返し精度1ミクロンの高精度、悪環境に強い(IP67)高耐久性が特長。

ブースでは、新製品のCNC工作機械用有線式超小型タッチプローブを出品する。製品の採用事例を踏まえてユニバーサル協働ロボットとモニターでわかりやすくデモ機にて紹介する。



工場設備・備品展

■ビー・アンド・プラス(ブース:20-23)

ビー・アンド・プラスは、創業から40年でワイヤレス給電製品の開発・製造で多数の実績があるワイヤレス給電のパイオニア企業。AGVの大容量バッテリー充電、設備の自動化・トラブル改善など、ワイヤレス給電技術は多くの生産現場で活躍の場を広げている。

ブースでは、後付けでき、AGVや電動リフト・牽引車のバッテリー充電に有効なワイヤレス充電システム「RCSシリーズ」や、ワイヤレスで給電+信号伝送が可能なりモートセンサシステムなどを紹介する。

■西日本セフティデンキ(ブース:18-39)

西日本セフティデンキは、中部地区に拠点を置くオリジナル製品の開発・製造および各種チューブ・ラベルの印字加工その他、表示・配線ソリューションでお客様の課題を解決している。

ブースでは、識別チューブやマーキングチューブなどを出品する。さまざまな配線には識別表示が必要となり、マーキングチューブ等が一般的な方法として使われているが、配線後でも識別変更や識別表示をできる事を可能とした方法などを提案する。



次世代3Dプリンタ展

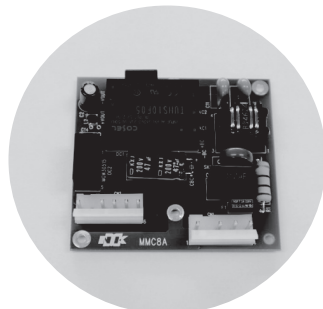
■キーエンス(ブース:26-9)

キーエンスは1974年に設立以来、FA用センサをはじめ、測定器や画像処理機器などの付加価値の高い商品で現場を支え続けているFA機器メーカー。自動車や半導体、電子・電気機器、通信、機械、科学、薬品、食品など業界問わず、グローバルで30万社以上の取引先がある。

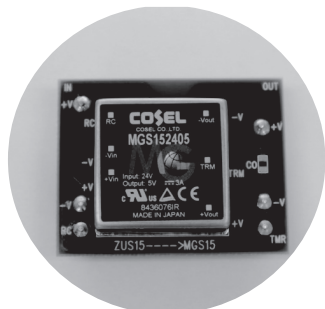
ブースでは、設計者のための業務用の3Dプリンタとなる高精度3Dプリンタ「AGILISTAシリーズ」を紹介する。世界初の水溶性のサポート材を採用。積層ピッチ15μmの高精細造形で組立ての確認まで手間を掛けずに行うことができる。



お客様の「困った」から製品が生まれます



COSEL MMC8 シリーズ 相当品



COSEL ZUS/ZUW シリーズ 相当品



鹿児島工場
わたしたちにお任せください

POWERED
www.powered.jp

COSEL 商品登録 1000 点以上オリジナル製品も販売中!
在庫品は即日出荷可能



部品調達から実装まで一括管理



日昭無線株式会社
Nisssha Musen Co., Ltd

お問い合わせ:企画開発課 TEL:03-3255-6693
東京都千代田区外神田2-13-1

www.nmk.co.jp

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちら→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

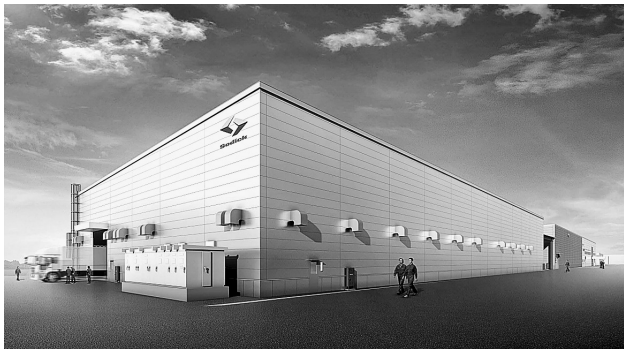
■太陽誘電、群馬県高崎市の八幡原工場にチタン酸バリウム製造の材料棟が竣工

太陽誘電は、群馬県高崎市の八幡原工場（群馬県高崎市八幡原町43-1）で、積層セラミックコンデンサの原材料であるチタン酸バリウムを製造する材料棟が竣工した。新棟は、最新鋭の設備を導入と建物の省エネ化にも取り組み、「ZEB Ready」認証を取得した。投資額は建屋のみ約50億円。延床面積は約2万500平方メートル。建築面積は約6600平方メートル。



■ソディック、加賀事業所で食品機械の新工場増設 新規食品加工分野へ事業拡大

ソディックは、石川県加賀市の加賀事業所（石川県加賀市宮町カ1-1）内に、食品機械新工場を増設する。同社の食品機械部門は2026年度売上高135億円を掲げており、今回の増設はそれに向けて、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制を強化するとともに、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野に事業領域を拡大する。増設に併せて既存工場も改修、米飯製造システムの組立エリア、ショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張する。



新工場は、2023年3月着工、2023年11月完成予定で、既存工場改修は2023年12月着工、2024年5月完成予定。延床面積は4147.8平方メートル。建設費用は約11.7億円を予定している。



人・技術・情報の
架け橋となり、
最善解で「福」あふれる
未来をつくる。

福西電機株式会社

■エポニックス、三重県四日市にリチウムイオン電池向けプラント新設

エポニックスは、グループ会社である日本アエロジルの四日市工場（三重県四日市市三田町）の敷地内に、

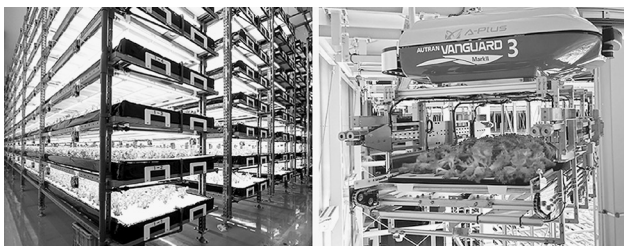
リチウムイオン電池向けフェームドアルミナを製造する新プラントを建設する。

フェームドアルミナは、次世代リチウムイオン電池の超薄膜セパレーターコーティング用に使われる材料で、リチウムイオン電池のエネルギー密度を高め、耐久性の向上に貢献する。電気自動車の走行距離の延長や、バッテリーの安全性と急速充電の性能も向上に役立つ。新工場はアジア初のフェームドアルミナ製造プラントとして、電気自動車用リチウムイオン電池向けのソリューションを提供する。

2023年夏に着工し、操業開始は2025年の予定。投資金額は数十億円規模。

■樺本チエイン、福井県三方郡美浜町に次世代モデルの人工光型植物工場を建設

樺本チエインは、福井県三方郡美浜町に人工光型の大型植物工場を建設する。事業開始は2025年5月の事業開始を予定している。植物工場の建設・運営は同社としては初めて。



同社は機械部品から搬送システムまで幅広い事業で培った自動化技術を生かし、2014年からアクリビビジネスとして苗の移植機、野菜昇降機など植物工場向け自動化システムを開発し、多くの植物工場で採用されてきた。今回、コンビニ、中食・外食市場での植物工場野菜への需要増への対応と、自社運営の植物工場を建設することで事業拡大を狙う。

新工場は、栽培と植物工場ノウハウを持つ木田屋商店の支援のもと、レタス類を生産し、1日あたり2.2トンの生産を目指す。またアクリビビジネスの研究・開発拠点として、自らが植物工場を運営・栽培（営農）することで栽培ノウハウと現場ニーズ、マーケットニーズを把握し、6次産業化を見据えた新商品や品種拡大などにつなげる計画。

敷地面積は約8500平方メートル。投資額は約28億円。2023年11月着工、2025年5月事業開始予定。

■大洋工業、高密度配線基板・高周波基板の生産設備を新規導入



大洋工業は、主力事業である電子基板事業について、高密度配線基板と高周波基板の生産体制構築に向けた生産設備を新規導入する。

医療・通信・車載向け機器では、さらなる高機能・小型軽量化・通信速度の高速化に向けて高密度配線のニーズが高まっている。高速通信分野でも5G、

Beyond5G/6G等、伝送損失や高周波特性の要求を満たすために高周波基板が必要とされている。

それに対し同社は、これまで実験装置での開発を行ってきたが、技術の確立と高まる製品化ニーズに対応するため生産設備の導入を決定した。

新設備は、高精度全自動めっきラインが2023年6月に、微細パターン現像/エッチングラインが2023年8月に、高密度・高精細パターン露光装置が2024年4月の稼働開始を予定している。総投資額は約2億3000万円。

■岡本工機、広島県府中市に府中第二工場が竣工 歯車生産能力は3倍に

岡本工作機械製作所の100％子会社である岡本工機は、広島県府中市栗栖町3169番地に建設中だった「府中第二工場」が竣工した。

新工場は、スマートフォンや自動車をはじめ製造の自動化需要によって産業用ロボットや減速機向けの受注が増加していることに対応するためのもの。今後、旋盤や歯切り盤など熱処理より前の「前工程」の工作機械を移設・新規導入し、2023年7月より本格稼働する予定。新工場の稼働により歯車生産能力は約3割増となる。

敷地面積は7532.29平方メートル。延床面積は5516.98平方メートル。投資規模は約30億円。

■日本電熱、長野県安曇野市の半導体製造装置向け熱制御機器製造の新棟が稼働開始

エア・ウォーターのグループ会社で各種電熱機器の製造・販売を行う日本電熱は、国内大手半導体製造装置メーカー向け熱制御機器の製造に特化した新棟を安曇野本社工場内（長野県安曇野市三郷温3788-1）に建設、稼働を開始した。



同社は、工業用の電熱制御機器で国内トップシェアを持ち、ウェハーを均一に加熱する熱板（ホットプレート）や冷却用のクーリングプレートなど、半導体の製造工程で不可欠な熱制御機器を大手半導体製造装置メーカーに供給している。新棟の稼働開始により、半導体製造装置に組み込まれる熱制御機器の生産能力は現行比1.5倍に拡大する見通し。

新棟の延床面積は6260平方メートル。建築面積3700平方メートル。鉄骨造2階建。投資額は約35億円。

■三菱重工航空エンジン、愛知県小牧市の航空エンジン整備工場を拡張

三菱重工グループの三菱重工航空エンジンは、世界中で増加するMRO（修理・整備）ニーズに応えるため、愛知県小牧市大字東田中1200番地にある航空エンジン整備工場の拡張工事を完工した。これにより民間航空エンジンの整備台数を現状の月産5〜6台から、2026年までに月産10台以上、将来的には現在の3倍となる15台とする計画。

今回の工事では、建築面積約1万1600平方メートルの現工場から、延床面積を約2500平方メートルに増床し、作業エリ

アを2割拡張。既存エリアにはエンジン分解・組立・検査などの人手作業を集約し、増築エリアにはバランス作業や研削などを行う最新鋭の大型設備を集約して効率的な整備エリアを実現。また増築部分の2階部分は部品を揃えるキット作業に特化し、増築エリアと既存エリアの有効利用を可能としている。

同工場では、ボーイング747搭載「PW4000」やエアバスA320搭載「V2500」などの既存エンジンに加え、最新鋭のエアバスA320neo搭載「PW1100G-JM」エンジンの整備も実施する。

■日東精工、京都府綾部市の八田工場敷地内にファスナー製造の新工場建設着工

日東精工は、ファスナー事業部八田工場（綾部市下八田町）の敷地内に新工場を建設する。新工場は、ファスナー製品の製造工程を見直し



しによる生産性・品質の向上、製造過程におけるCO₂排出量の削減を目的とするもの。本社工場の一部ファスナー製造工程の設備移設やファスナー製品の製造設備統合など製造工程を見直すことでより高い生産性ならびに品質の向上を目指す。

海外

■天馬、ベトナムにOA機器部品の新工場建設

天馬の連結子会社のベトナム・TENMA VIETNAM CO.,LTD（「天馬ベトナム」）は、ベトナム国クアンニン省アマタシティハロン工業団地内にOA機器部品製造の第2工場を建設する。

敷地面積は約179千平方メートル。建築面積は約63千平方メートル。延床面積は約80千平方メートル（予定）総投資額は約90億円（予定）、着工は2023年9月（予定）、竣工は2024年10月（予定）

■アイカ・ラミネーツ・インディア社、生産設備の増設で化粧板の生産能力1.6倍に

アイカ工業の海外グループ会社であるアイカ・ラミネーツ・インディア社は、メラミン化粧板の生産設備を増設し、3月1日に生産を開始した。総投資額は約3.7億円。2025年3月にはメラミン化粧板の生産能力を現状の約1.6倍に向上させる計画。

メラミン化粧板は、メラミン樹脂およびフェノール樹脂をそれぞれ含浸させた印刷紙・クラフト紙を、何枚も重ね合わせた上で高温・高圧下でプレスし、積層成形して製造する。今回の設備投資では、樹脂を含浸させる含浸機1台と、積層成形させるプレス機1台を増設した。

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格

グローバルに通用する製品品質を備え、
世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニックスでは
IPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずは web からダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で 検索

はんだ付工程を
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸 2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



ジャパンユニックス製品 導入事例集 web にて公開

『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
<http://www.japanunix.com>

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554
大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112

テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503